

土木工学・建築学委員会 IRDR分科会（第25期・第7回）・
IRDR活動推進小委員会（第25期・第4回）合同会議

議 事 要 旨

1. 日 時 令和4年8月2日(火) 10:00-12:00
2. 会 場 オンライン会議 (zoom)
3. 議 題
 - (1) 確認事項
 - 1) 第3回合同会議の開催：議事次第及び手当不給
 - (2) 日本学術会議関連
 - 1) 第8回土木工学・建築学委員会IRDR分科会活動報告220808
 - 2) 学術フォーラム企画案募集（令和5年1月～3月開催予定）
 - 3) 日本学術会議による国際学術団体への新規加入希望調査（〆切8月31日）
 - 4) 日本学術会議による地方会議の開催
 - (3) 国際コンポーネント
 - 1) IRDR関係
 - 2) GP2022関連の報告
 - 3) SCI2022関連
 - 4) GAR活動
 - 5) 世界防災フォーラム紹介
 - 6) GADRI
 - 7) 日米交流基金の申請
 - (4) 国内コンポーネント
 - 1) J-HoP関係
 - 2) 7月7日学術フォーラム「国難級災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方」開催
 - 3) 提言骨子案
 - 4) ぼうさいこくたい
 - (5) その他
4. 出席者（分科会）小池俊雄、今村文彦、風間基樹、川崎昭如、小森大輔、齊藤大樹、寶馨、多々納裕一、田村圭子、林春男、堀宗朗、宮野道雄、小野裕一、西川智

(小委員会) 田端憲太郎、西口尚宏、廣木謙三、深澤良信、村上威夫、山崎律子
(ともに名簿順、敬称略)

5. 議 事

(1) 確認事項

1) 第3回合同会議の開催：議事次第及び手当不給

- ・ 資料1-2 Re (お伺い) 土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会の開催予定についての説明

(2) 日本学術会議関連

1) 第8回土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会活動報告220808

- ・ 資料2-1-1 Fw [ご依頼・7_29 〆切] 分野別委員会、分野別委員会分科会活動報告について【第三部夏季部会関係】の説明
- ・ 資料2-1-2 IRDR 分科会活動報告220808.pdfの説明

2) 学術フォーラム企画案募集（令和5年1月～3月開催予定）展開済

- ・ 資料2-2 Fw 【ご連絡】学術フォーラム企画案募集(令和5年1月~3月開催予定)の説明

3) 日本学術会議による国際学術団体への新規加入希望調査（〆切8月31日）未展開

- ・ 資料2-3 Fw 【日本学術会議】日本学術会議による国際学術団体への新規加入希望調査(〆切8月31日)の説明
- ・ 防災学術連携委員会が提言の連名になるかについて連絡があった。議事録には「連携」と書かれているが、小池委員から改めて「連名」ということで提案する。

4) 日本学術会議による地方会議の開催

- ・ 資料2-0-0●地方学術会議の開催について(20190424)の説明
- ・ 資料2-0-1●地方学術会議の今後の進め方について(20200827幹事会決定後)の説明
- ・ 関東地区では防災科研にご協力をいただき、環境と防災をテーマに議論する懇談会とシンポジウムを来年3月までにつくばで開催予定。学のみならず官と民にもご協力いただき、進めていきたい。

(3) 国際コンポーネント

1) IRDR関係 動きなし

2) GP2022関連の報告

- ・ インドネシア・バリで開催。ハイブリッドで約4,000名の参加。各国の閣僚級も参加。SFDRRに関して2023は中間評価年となるが、具体的な議論は交わされていなかった。
- ・ Recovery from Covid, governance, financeに関する議論が多くあった。

- ・ 国際学術会議(ISC)が提言を出した。SFDRRでは各国・各地方政府が防災計画・防災戦略を立てるべきという目標がある。そのためには、科学者が地方政府や当局者としっかり対話、連携するべきという提言を西川委員が中心となりまとめた。その中に、ファシリテーターの考え方を盛り込んでいる。
- ・ 日本政府とインドネシアとのサイドイベントを企画。防災投資について強調。
- ・ 内閣府から大野副大臣がハイレベル・ディスカッションにパネリストとして登壇。SFDRRの進捗状況、今後の課題について議論するセッションであった。日本からはモニタリングの重要性、計画的な防災投資の必要性について、日本国内の取り組みとして防災白書などを例にしながら、各国の取り組みを促す発表をした。
- ・ 水と災害に関する閣僚級のサイドイベントを開催。水災害を契機にした平和構築の課題、水災害と気候変動、コロナに関して議論した。インドネシア政府との共催。小池委員が科学技術と水災害に関して、OSSやファシリテーターについて発表した。
- ・ SFDRRの中間評価についての関連情報。来年3月に2023国連水会議が開催され、その直後にSFDRRの中間評価があるので、国連水会議の成果とSFDRR中間評価と密接に連携させたいとの意見があった。

3) SCI2022関連

- ・ *資料3-1 SCI2022 Planning_OSS_SRI2022_updated_(2) の説明*
- ・ <https://attend.sri2022.org/meetings/virtual/tXy5Ch4rBcnqa7um9?openNativeApp=true>

4) GAR活動

- ・ *資料3-2-1 Draft Agenda for 8th GAR Advisory Board Meeting の説明*
- ・ *資料3-2-2 Draft GAR SR Concept Note の説明*

5) 世界防災フォーラム紹介

- ・ *資料3-3-1 世界防災フォーラム紹介の説明*

6) GADRI

- ・ 2023/3/15-17に第6回世界防災研究所会議を京都大学防災研究所でハイブリッド開催。

7) 日米交流基金の申請

- ・ 残念ながら不採用

(4) 国内コンポーネント

1) J-HoP関係

- ・ *資料4-1 JHoP WHOの翻訳版の日本国内普及サポーターリストのご確認の御願いの説明*

2) 7月7日学術フォーラム「国難級災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方」開催

<https://www.youtube.com/watch?v=nsBYAUDfAj0>

- ・資料4-2-1 学術フォーラムチラシ0602の説明
- ・資料4-2-2 7月7日学術フォーラム事後報告提出依頼及び開催結果等の情報共有についての説明
- ・資料4-2-3 20220607_概要修正案2(反映版)林の説明

3) 提言骨子案

- ・資料4-3-1 三部コメント対応案の説明
- ・資料4-3-2 IRDR分科会意思の表明 骨子案修正版の説明

4) ぼうさいこくたい

- ・資料4-4ぼうさいこくたい2022_IRDRセッション(案)0801.pdfの説明

(5) その他

- ・ 9月のアジア太平洋防災閣僚会議にICOEとして応募したが、残念ながら不採用であった。内閣府からオールジャパンの防災のブースを出展予定。内閣府からハイレベルの出席者を準備中。J-Hopとしても展示を登録。
- ・ 人事異動により、IRDR活動推進小委員会の池田委員の辞任を承認。後任についてはICHARMでご検討いただく。
- ・ 今年度の持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議（持続会議）の大テーマは「災害と健康」に決定。2023/1/25-26に完全オンライン開催。小池委員が持続会議分科会の委員。災害を専門とする国際的に活躍されている方を委員に入れるのが良いということで、Rajib Shaw委員のお名前が上がっている。
- ・ 毎年10月に京都で開催されるSTS Forumにて、10/3開催予定のAPM（Academy of Science Presidents' Meeting）は日本学術会議と翌年のG7サミット国（広島＝日本）が協力して企画。「気候と災害」をテーマに開催することが決まり、小池委員がとりまとめを行う。
- ・ 2023年2月につくばで開催予定のICFM9（国際洪水管理会議）で、265件のアブストラクトの採択を決定した。参加登録は12月末まで。